

群馬県伊勢崎市 清水 みどり

去年から、ノラだった猫を2匹飼っている。田舎なので屋外で放し飼いだ。

チビネコは「ニャハ」と少しハスキーな声のメスで、夏にトコトコとひとりで私のところにやって来た。生後2か月くらいの仔猫だったので、かわいそうでえさをあげることにした。チビが来た前後で大きな成猫も来たのだが、人が近づくとフーッと行って威嚇し、あまり可愛くないビックリ顔をしていた。「可愛くないからえさをあげないというのはよくない」という妹の一言で、ソーダ！とばかり一緒にえさをあげるようになった。チビと仲良くいるのでお母さん猫かと思ったのだが、オスだとわかって??よく寄り添って寝ていた。

チビの初めての冬には、雪が降った夜などねぐらに湯たんぽを入れたりしてめんどう見た結果、みごとに元気に育ち、よく狩りをしては食べている気の強い女の子だ。追いかけて行くとたいていは逃げるのだが、時たま途中でコロソと横になることがあって、その時は触っていいらしいので、触らせてもらう。ジジ（どうもおジーさん猫らしい）の方はしょっちゅう「なでろなでろ」と寄ってくるので、以前飼われていたのかもしれない。今もよく2匹寄り添って寝ている。



定年退職するまで小学校・中学校の事務職員として5校36年を過ごしました。新採用は埼玉県与野市で、合併してさいたま市になりました。

新任事務職員として市教育長の面接に行ったら、教員になるなら早い方がいい、と言われて唖然とした記憶があります。1974年頃は100人採用しても50人はやめるといわれるような時代でした。4月1日に初任校に赴任すると、その日から教職員の4月分給料や共済組合等の報告書類づくりに追われ、翌日にはそれを県の教育事務所に提出しに行くという日程で、さすがに前任者がその部分だけ教えに来てくれましたが、あとはすべて本人任せ。「勝手に育ってくれ」という状態でした。

4年目で学校事務職員の独自組合に加入し、以来33年随分いろいろなことをやってきた気がします。初期の職場の働きにくさは飛躍的に改善され、仕事の分野も拡大してきます。

その中でいずれありうるといわれてきた義務制学校事務職員の身分移管が、2017年度から政令市で実施される予定で準備がすすめられています。正確には給与負担が県から政令市に移譲されるのですが、併せて採用・給与水準・異動・業務内容等の労働条件に関する変更が検討されることとなります。学校事務制度上大事な時期の前に退職し、田舎に引っ込んでしまいましたが、来年山口市で開催される自治労学校事務集会に参加しようと思っています。山城さんお世話になります。

次は東京の足立洋子さんです。